令和8年度保健師等ブロック別研修会（近畿ブロック）プログラム

テーマ：地域の未来を支える保健活動　～連携・実践・育成のこれから～

目　的：2040 年を見据え、地域保健を取り巻く環境が大きく変化する中、府県および市町村の保健師が相互に連携し、地域の実情に応じた保健活動を推進していくことが求められている。本研修会は、府県および市町村の保健師が共通認識を形成し、互いの役割と強みを理解し合いながら、補完し合う連携体制を構築することを目的として開催する。国の動向、学術的知見、実践事例の共有を通じて、課題把握・連携設計・実行・評価といった実践力を高め、県と市町村が共同して取り組む今後の地域保健活動の推進につなげることを目指す。

日　時：令和8年10月8日（木曜日）　10：00～16：30

対　象：近畿2府4県、政令指定都市、中核市、市町村に勤務する保健師等　約150名

会　場：奈良春日野国際フォーラム甍（奈良県奈良市春日野町 101）レセプションホール1

時　間	内　容	掲載ページ
9:30～	受付	―
9:50～10:00	オリエンテーション	―
10:00～10:10	開会・挨拶	―
10:10～10:40	**講演Ⅰ【行政説明】** 「2040 年を見据えた地域保健行政―持続可能な体制と連携の構築―」 講師：厚生労働省健康・生活衛生局健康課保健指導室 室長補佐　飯村　祥子　氏	p.3～36
10:40～11:40	**講演Ⅱ** 「変化する地域に応える保健活動～住民の暮らしを支える保健師の役割～」 講師：東京大学大学院医学系研究科健康科学・看護学専攻 地域看護学・公衆衛生看護学分野　准教授　吉岡　京子　氏	p.37～80
11:40～12:40	休憩	―
12:40～13:40	**講演Ⅲ** 「保健所・市町村の連携による保健活動の未来～すべての住民の well-being を実現するシステムづくりを目指して～」 講師：京都大学医学研究科人間健康科学系専攻 地域健康創造看護学分野　准教授　塩見　美抄　氏	p.81～92
13:40～14:10	パネルディスカッション テーマ：「地域保健を未来につなぐために―県・保健所・市町村の連携と協働を考える―」 ①　県の立場からの報告（10 分） 「2040 年を見据えた保健師人材育成と県の役割」 兵庫県保健医療部健康増進課 副課長　吉井　絢子　氏	p.93～102

14:10～14:50	② 保健所の立場からの報告（10 分） 「小規模市町村の保健活動を支える広域調整」 和歌山県日高振興局健康福祉部 御坊保健所保健課 課長 梅津 吉孝 氏 ③ 市町村の立場からの報告（10 分） 「保健活動の継続のための工夫 ～十津川村の取り組みと広域支援への期待～」 十津川村住民課 係長 後藤 忠信 氏 ディスカッション（40 分） オブザーバー： 東京大学大学院医学系研究科健康科学・看護学専攻 地域看護学・公衆衛生看護学分野 准教授 吉岡 京子 氏 京都大学医学研究科人間健康科学系専攻 地域健康創造看護学分野 准教授 塩見 美抄 氏	p.103～114 p.115～120
14:50～15:00	休憩	―
15:00～16:05	グループワーク 「府県・保健所・市町村が協働して進めるべき優先課題と、そのためのアクションを考える」	p.121～124
16:05～16:20	講師講評	―
16:20～16:30	閉会挨拶	―